

労使研

「情報」第51号 2016年9月

労使関係研究協会

〒105-0014東京都港区芝2丁目

20番12号（友愛会館8階）

電話：03-3453-5386

FAX：03-3451-1710

関西支局

〒550-0001大阪市西区土佐堀

1丁目6番3号

（JAM西日本会館内）

電話：06-6225-2881

友愛会創立104周年記念式典

友愛会創立104周年を記念する式典が、2016年8月1日、友愛会館9階・大会議室で開催されました。式典・記念パーティーに142人が参加しました。

来賓あいさつ（上から）
柳沢光美専務理事、政策研究フォーラム・谷藤悦史理事長
（上から）
連合・逢見直人事務局長、
民社協会・



主催者代表あいさつ 友愛会創立を記念する会・高木剛会長



司会

寺門勉事務局長（日産労連）

乾杯

日産労連・高倉明会長



◆同日、記念する会開催に先立って友愛労働歴史館研修室で友愛会を顕彰する報告会が開催されました。報告会では「友愛会を支えた人々—吉野作造・新渡戸稲造ら」と題して、芳賀清明氏（友愛労働歴史館研究員・労働運動史研究者）からの報告がありました。

友愛労働歴史館の活動(2016年1月～8月)

1. 展示会(常設展・企画展)活動

友愛労働歴史館は展示会活動として常設展と企画展(年2回)を開催しており、常設展「日本労働運動の100年余 - 友愛会・総同盟(戦前)を中心とする」は通年開催しています。

2015年12月7日から旧全労・旧同盟の結成60年を記念して企画展「全文協結成から60年、その今日的意義を探る」(2015.12.07～2016.05.31)を開催しました。

2016年6月6日からは総同盟結成70周年を記念した企画展「総同盟結成から70年 - いま労働組合主義について考える」を12月22日までの会期で開催しています。

◆企画展

①「全文協結成から60年」展

会期：2015年12月7日(月)～2016年5月31日(火)

会場：友愛労働歴史館・展示室

テーマ：「全文協結成から60年、その今日的意義を探る」

内容：第1部「新しい国民文化の創造をめざした全文協—全文協41年略史—」
第2部「民主的労働運動の文化運動」
第3部「よび合うこだま運動、全文協文化リーダー研修会、同劇団こだま」
第4部「大阪全文協—その歴史と活動—」

②「総同盟結成から70年」展

会期：2016年6月6日(月)～2016年12月22日(金)

会場：友愛労働歴史館・展示室

テーマ：「総同盟結成から70年—いま労働組合主義について考える」

内容：第1部「総同盟(戦前戦後)を中心とした日本労働運動略史」
第2部「労働組合主義とは」
第3部「『労働組合主義』の限界と『民主的労働運動』の理論



2017年1月からの企画展「内ヶ崎作三郎」を取り上げる予定です。関連資料をお持ちの方はご一報ください。

2. 講演会活動

友愛労働歴史館は企画展と連動させた講演会を、労使関係研究協会と共催で開催しています。また、独自に講演会や労働講座などを開催しています。2016年1月～8月は、以下の講演会・労働講座を開催しました。

①「全文協」展記念講演会（労使研と共催）

と き：2016年5月13日（金）15：00～17：00

ところ：友愛労働歴史館・研修室

テーマ：①「全文協に見る演劇活動、文化・レク活動」

西田 了 氏（舞台演出家）

②「全文協と文化運動・レク活動—川崎堅雄の提起したもの」

間宮悠紀雄 氏（元全文協事務局長）

②友愛会創立記念労働講座

と き：2016年8月1日（月）11：00～11：45

ところ：友愛労働歴史館・研修室

テーマ：「友愛会を支えた人々—吉野作造・新渡戸稲造ら—」

講 師：芳賀 清明 氏（労働運動史研究者、友愛労働歴史館研究員）

3. 調査・研究活動

友愛労働歴史館は常設委員会として「ユニテリアンと社会運動研究会」、「政治・社会運動史研究会」を設置し、調査・研究活動を行っています。2016年1月～8月は、以下の研究会を開催しました。

①「第6回政治・社会運動史研究会」

名 称：「民社党時代を語る—（第6回～第10回共通テーマ）」

と き：2016年01月29日（金）10：15～11：45

講 師：塚本 三郎 元民社党委員長

ところ：衆議院第2議員会館・川端達夫事務所

②「第7回政治・社会運動史研究会」

と き：2016年03月29日（火）10：30～12：00

講 師：中野 寛成 元民社党書記長・新党友愛代表・民主党幹事長・衆議院副議長

ところ：友愛労働歴史館・研修室

③「第8回政治・社会運動史研究会」

と き：2016年04月25日（月）15：00～17：00

講 師：荒瀬修一郎 元民社党中執・元新護憲事務局長

ところ：友愛労働歴史館・研修室

④「第9回政治・社会運動史研究会」

と き：2016年06月13日（月）15：00～17：00

講 師：大木 明石 元一般同盟会長

元UAゼンセン副会長、元労使関係研究協会会長

ところ：友愛労働歴史館・研修室

⑤「第10回政治・社会運動史研究会」

と き：2016年07月15日（金）15：00～17：00

講 師：上條 末夫 元駒澤大学教授、元政策研究フォーラム事務局長

ところ：友愛労働歴史館・研修室



大木明石氏

4. その他の活動

①情報発信・PR活動

友愛労働歴史館は情報発信のため随時、メールレポート「友愛労働歴史館たより」を発信しています。2015年1月～8月は、第102号（2016.01.18）から第110号（2016.08.22）を発信しました。

また、インターネット上の友愛労働歴史館ホームページを随時、更新し、情報提供を行っています。

②コミケ90（東京ビッグサイト、8月14日）に初出店

友愛労働歴史館は8月14日（日）、国際展示場（東京ビッグサイト）で開かれた「コミックマーケット90」（略称：コミケ90）に初出店しました。当日、当館担当者2名と応援の学生1名の3名体制で臨み、暑さ厳しい会場で08：00～16：00までグッズ販売、友愛労働歴史館のPRに取り組みました。

今回のコミケ90には、①日本労働会館ポストカード5枚セット（定価300円）、②三色ボールペン（唯一館・同盟・民社党）3本セット（定価500円）、③友愛会創立100周年記念切手シート（定価1000円）、④DVD「友愛会から連合へー日本労働運動の100年ー」（定価1000円）を持ち込み、計28点のグッズを販売しました。

なお、これら4点のポストカードや三色ボールペンなどは常時、友愛労働歴史館で販売しています。



史料を探しています

友愛労働歴史館は友愛会ゆかりの人々の資料を探しています。特に友愛会を創立した15名（下記参照）の内、①鈴木文治と⑧梶井與雄を除く13名の写真・資料は、所蔵していません。これらの人たちの写真・資料をお持ちの方は、友愛労働歴史館へご一報ください。

ex-ll yuairodorekishikan@rodokaikan.org

<友愛会創立メンバー15名>

①鈴木文治（統一基督教弘道会幹事）、②岡村寅次郎（畳職）、③高橋秀雄（機械工）、④鈴木吉太郎（塗物工）、⑤山口庄吉（電気工）、⑥板倉定四郎（巡查）、⑦伊藤伝蔵（牛乳配達夫）、⑧梶井與雄（梶井與雄。機械工）、⑨森田駿（機械工）、⑩石井輪之助（機械工）、⑪喜多川鉦造（機械工）、⑫野村市太郎（電気工）、⑬酒井義雄（撒水夫）、⑭大栗和七（撒水夫）、⑮宮本精太郎（撒水夫）

第18回労働講座

日 時：2016年2月17日（水）14：00～16：00

会 場：友愛会館9階・中会議室

テーマ：「労働運動へのチャレンジ45年（前篇）」

講 師：高木 剛 氏（全労済協会理事長、元連合会長）



第78回講演会（関西）

日 時：2016年3月10日（木）14：00～16：00

場 所：J AM西日本会館

テーマ：「中国発世界不況の行方」

講 師：谷口 洋志 氏（中央大学教授）

日系企業の中国への投資はサービス関係等は増加していること、経済成長についても今後減速していくのは間違いないこと。上海株価についても中国の経済実態ではなく高いレバレッジ等の影響が大きいとのことでした。中国が2020年に向けて、一帯一路政策でなりふり構わず、過剰投資、過剰在庫解消のためアセアン等にさらに進出しようとする中で、我が国としてこれらの国に対して、中国以上に日本の技術、サービスを売り込んでいかないといけないとの指摘も。



第19回労働講座

日 時：2016年4月20日（水）14：00～16：00

会 場：友愛会館9階・中会議室

テーマ：「労働運動へのチャレンジ45年（後篇）」

講 師：高木 剛 氏（全労済協会理事長、元連合会長）



氏は1967年に旭化成工業に入社、69年に全旭化成労連の専従に、その後宮崎地方同盟会長時代には同盟・総評の対立問題や倒産・労働債権問題国政選挙を指導。ゼンセン同盟で本部に移ってからは組織拡大と産業政策を担当、産別統合や連合結成などにもかかわりました。連合では副会長時に労働審判制度を創設、会長となってホワイトカラー・エグゼンプションの導入阻止、民主党の政権奪取にも貢献、国際労働運動にも積極的に取り組まれました。氏の労働運動の原点は「ワーカーズ・ファースト」。「良き師と良き仲間恵まれてこれを追求することができた45年間」と述懐されています。

④ 第20回労働講座（関西）

日 時：2016年4月26日（火）14：00～16：00

会 場：JAM西日本会館

テーマ：「組織拡大にかけた我人生」

講 師：三ツ木 宣武 氏（元UIゼンセン同盟大阪支部長）



組織化の取り組みは掛け声だけでなく、いかに地道に続けていくか。現場では、未組織の労働者とプロ用語ではなく単純明快に、徹底的に話し合い組合運動観を相手に納得させるまで繰り返しの働きかけが必要である等、理論ではなく実践に裏打ちされた貴重な体験談を聞かせていただきました。

最後に1000万連合実現のためには、大手未組織、中立の組織に、会長自らが訪問、説得するぐらいでなければ組織拡大は進まないという辛口の苦言も呈され、参加者も大きくうなずいていました。

⑤ 第80回講演会（関西）

日 時：2016年7月29日（金）14：00～16：00

会 場：JAM西日本会館

テーマ：「アメリカ大統領選挙の行方と日本の対応」

講 師：佐古 丞（さこすすむ）氏（大阪学院大学国際学部教授）



共和党のトランプ候補は過激な発言と所得の伸びない白人労働者の支持を得て、民主党のクリントン候補も中間層の経済的保障回復と黒人やヒスパニック系の支持拡大を得て候補者に決定。今後はスキャンダル合戦になり、予断を許さない戦いとなるかも。クリントン氏は対日政策で大きな転換はないでしょう。トランプ氏では国益第一主義の極端な孤立政策はとれないものの、外交政策の変更は避けられないでしょう。

ヨーロッパの情勢が第一次世界大戦前の情勢と類似、世界的な混乱の可能性もあり、わが国もアメリカとの同盟関係が続くとは限らないことも前提にして安全保障も進めて行く必要があるというお話でした。

「きずな」寄稿のお願い

会員交流誌「きずな」は労使研会員各位の交流を一層充実させることを目的に、2006年の発刊以来、今回で14号をむかえることとなりました。会員の自由な作品の発表や、紙面を通じた建設的な意見交換など、ジャンルを問わない掲載内容としておりますので、積極的なご寄稿をいただければ幸いです。

●掲載内容：特にテーマは定めません。労使関係、労働分野はもとより、政治、経済、社会、文化、紀行、趣味、娯楽など、専門分野も含めた全般とし、ジャンルを問いません。また記事や小説・詩歌等の作品、写真、イラスト、漫画の投稿も歓迎いたします。

●字数：原則として1ページ（1,200字まで）または2ページ（2,400字まで）の二通りとしていますが、自由に執筆いただいて結構です。

●原稿締切：2016年11月4日（金）

●送付先：労使関係研究協会（電話番号：03-3453-5386）
担当 滑川太一

●メールアドレス： roshiken@rodokaikan.org

●郵送：〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館8階

●FAX：03-3451-1710